

⑧ため池の貯水量の調節による洪水被害防止

【山形県 戸沢村土地改良区】

○集中豪雨による洪水被害軽減のため、ため池の貯水量を事前に減らしておき、洪水時のピーク流量を軽減。

地域概要

- 戸沢村は、山形県北部の最上地方に位置しており、ほぼ中央に最上川が東西に流れる。
- 取組主体である蔵岡地区は人口約200人の農村地域であり、地区内にはため池が整備。



角間沢ため池

(出典：平成26年度強くしなやかな農村地域の構築に向けた調査検討業務報告書より)

対策の背景

豪雨災害対応

- 集中豪雨等による河川の水位上昇が引き起こす排水の遮断等より、床下浸水等の被害が数年に一度発生。
- 地区会を主体として、平成19年に自主防災会が発足。
- 平成25年に発生した豪雨災害を契機に、地域でできることは何かと考え、土地改良施設（ため池）を利用した洪水被害防水対策を実施。



過去の浸水状況
(出典：国土交通省HP)

対策の内容・結果

- 【ため池の有効活用】
 - 土地改良区と地区会が連携して、ため池の貯水量を事前に調整し、豪雨の貯留機能を確保した対策を試験的に実施。
- 【ハザードマップの作成】
 - ため池の決壊も想定したハザードマップを作成し、地域住民への情報提供を実施。



取組状況

(出典：平成26年度強くしなやかな農村地域の構築に向けた調査検討業務報告書より)

- 今後、ため池のハード整備の実施と併せて、災害時の緊急連絡体制や避難体制の整備等のソフト対策の実施も検討。



角間沢ため池ハザードマップ
(出典：農林水産省HP)